

第2期「水の都おおがき」創生総合戦略の評価（案）について

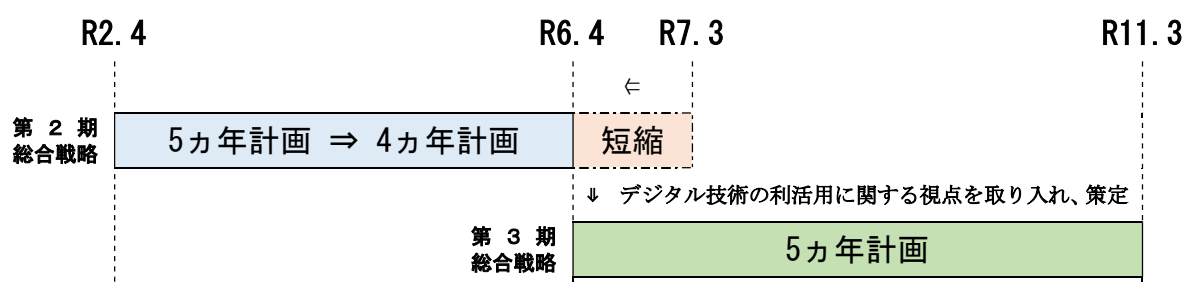
1 趣 旨

国では、令和4年12月にデジタル技術の活用によって、地方の取り組みを加速化させるため、「『まち・ひと・しごと』創生総合戦略」を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」として策定しました。

これを受けて本市においても、地方創生の取り組みを一層推進するため、本年3月に新たにデジタル技術の利活用に関する視点を取り入れた第3期「水の都おおがき」創生総合戦略を策定し、第2期「水の都おおがき」創生総合戦略は1年前倒しで終了しました。

これに伴い、令和5年度の実績を基に第2期総合戦略の評価（案）を取りまとめたので報告すると共に、第3期総合戦略に繋がる意見を求めるものです。

〔総合戦略の経過〕



2 実 績

(1) 基本目標ごとの事業数及び事業費

(上段：事業数、下段：事業費（単位：百万円）)

基本目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4カ年計
1 楽しく子育てができるまちづくり	132	125	132	130	519
	10,903	12,519	10,122	10,578	44,122
2 元気があるまちづくり	59	63	63	61	246
	3,186	2,885	2,922	2,812	11,805
3 安心できるまちづくり	93	86	84	84	347
	57,082	58,163	57,771	57,688	230,704
4 広域連携による魅力あるまちづくり	16	15	18	19	68
	20,334	22,973	25,973	30,809	100,089
合 計	300	289	297	294	1,180
	91,505	96,540	96,788	101,887	386,720

※ 令和5年度の事業費は見込額。

(2) 基本目標ごとの主な取り組み

(1)の表のとおり、4か年で1,180の事業を実施しましたが、基本目標ごとの主な取り組みは以下のとおりです。

① 基本目標1 楽しく子育てができるまちづくり

1) 親子バス利用支援事業（令和2年度拡充事業）

子育て家庭の経済的な負担の軽減とバス利用による外出の促進を図るため、子育て世代のバス利用を無料化しました。

※ 対象者を「小学校2年生以下の児童及びその保護者等」から「小学校6年生以下の児童及びその保護者等」まで拡充。



無料チケットを渡す利用者親子の様子

2) 情報工房デジタルひろば整備事業（令和4年度～令和5年度事業）

子どもをはじめとした多世代が、デジタルに様々な形で気軽に触れ楽しめる「デジタルひろば」として、情報工房交流サロンをリニューアルしました。



デジタルひろば内の「こどものひろば」の様子

② 基本目標2 元気があるまちづくり

1) 戦国観光おおがき魅力発信事業（令和4年度事業）

NHK大河ドラマ「どうする家康」の放映による歴史資産の注目度の高まりに合わせ、短編アニメーションやオリジナル漫画の制作、歴史資産を巡るスタンプラリー等の実施、「大阪・お城フェス2022」への出展など、戦国観光をPRすることで誘客を図りました。



大阪・お城フェス2022へ出展の様子

2) まちなかテラス推進事業（令和2年度～令和5年度事業）

コロナ禍における「3密（密集、密接、密閉）」の回避や「新しい生活様式」を取り入れた感染予防、中心市街地の活性化を図るため、大垣駅周辺の路上利用のほか、広場等のパブリックスペースにおける飲食提供のためのテラス席の設置や物品販売等の取り組みを支援しました。



テラス席の設置

③ 基本目標3 安心できるまちづくり

1) 防災ハザードマップ作成事業（令和2年度事業）

河川の氾濫による浸水想定や地震の想定等を周知するために発行していた「防災ガイドブック」を最新の知見を踏まえた内容へ刷新し、市民の防災意識高揚と知識習熟を図りました。



大垣市防災ハンドブック

2) 地域公共交通デジタル化推進事業（令和4年度事業）

「新しい生活様式」を取り入れた地域公共交通の利用環境の構築を図るため、交通事業者が実施する、非接触型キャッシュレス決済（交通系ICカード）やバスロケーションシステムの導入を支援しました。



交通系ICカードでバス料金を支払う様子

④ 基本目標4 広域連携による魅力あるまちづくり

1) 環境SDGs おおがき推進事業（令和4年度～令和5年度事業）

環境SDGsの単なる周知・啓発に留まらず、全世代へ環境SDGsの輪を広めると共に、市民等の自発的な取り組みを促すため、SDGsを共に学び・考え・行動するための効果的なイベント等を市民・市内事業者と協働で実施しました。



環境SDGs おおがき未来創造事業 スタートアップセミナーパネルトーク

2) 大垣地域経済戦略推進事業（令和2年度～令和5年度事業）

西美濃地域の市町をはじめ企業や大垣商工会議所等と連携し、大垣ビジネスサポートセンターを拠点として、起業・創業希望者やベンチャー企業を発掘し、起業・創業後の経営サポートを行うとともに、資金調達や人材育成に関するセミナー等を開催し、企業経営に役立つ情報発信等を実施しました。



大垣ビジネスサポートセンターでの相談の様子

3 評 価

(1) 評価の方法

数値目標・K P I の戦略策定時の基準値及び最終年度を令和6年度から令和5年度に変更に変更した目標値と、令和5年度の実績値を比較し、評価する。

区 分	内 容
対 象	a) 基本目標（4基本目標）における数値目標 b) 基本施策（10基本施策）におけるK P I
方 法	数値目標・K P I の戦略策定時の基準値及び令和5年度の目標値※と実績値を比較し、評価を実施。 ※ 令和5年度の目標値は第2期総合戦略策定時に設定したものを使用する。原則として、R6目標値から基準値の差分について毎年均等配分し、設定したもの。
評価基準	A：目標達成（目標値以上） B：基準値より前進（基準値を超過） C：基準値と同水準（基準値の90%以上） D：基準値より後退（基準値の70%以上90%未満） E：基準値より大きく後退（基準値の70%未満）

(2) 評価の結果概要

基本目標については、7の数値目標のうち、C評価以上が5となり全体の約71%を占めている。また、基本施策については、12のK P Iのうち、C評価以上が7となり全体の約58%を占めている。基準値と同水準以上を達成できた指標が全体の約6割となり、計画期間の大半がコロナ禍や物価高騰の影響下であったことを鑑みると、戦略全体として一定の効果はあったと考えられる。

基本目標	基本目標の評価（数値目標）					基本施策の評価（K P I）						
	評価対象	A	B	C	D	E	評価対象	A	B	C	D	E
1 楽しく子育てができるまちづくり	2	1	-	1	-	-	2	-	-	1	1	-
2 元気があるまちづくり	2	1	-	-	-	1	3	-	-	2	-	1
3 安心できるまちづくり	1	-	1	-	-	-	5	1	1	2	-	1
4 広域連携による魅力あるまちづくり	2	1	-	-	1	-	2	-	-	-	2	-
合 計	7	3	1	1	1	1	12	1	1	5	3	2

(3) 評価の詳細

基本目標 1 楽しく子育てができるまちづくり

数値目標	基準値	R5目標値	実績値	評価
合計特殊出生率	1.47 (H29)	1.66 (R5)	1.34 ^{※1} (R5)	C
子育て支援の取り組みに対する市民満足度 (%)	87.8 (R1)	89.5 (R5)	89.5 ^{※2} (R5)	A

※1 合計特殊出生率については、出生数と合計特殊出生率の過去の実績値の相関性より算出した推計値を実績値とする。(別添資料No.2-2参照)

※2 令和6年4月から5月にかけて実施した市民アンケート調査の結果を実績値とする。

基本施策 1 妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
出生数(人) (5ヵ年の累計)	6,636 (H26~H30)	5,440 (R2~R5)	4,468 [※] (R2~R5)	D

※ 基準値に5分の4を乗じたもの(5,309人)と実績値を比較し、評価する。

基本施策 2 未来を担う子どもを育てる環境づくり

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
将来の夢や目標を持っている子どもの割合 (%)	80.2 (H30)	80.9 (R5)	75.5 (R5)	C

基本目標 2 元気があるまちづくり

数値目標	基準値	R5目標値	実績値	評価
社会増減（人）（5ヵ年の累計）	142 ^{※1} (H26~H30累計)	1,200 (R2~R5累計)	▲207 (R2~R5累計)	E
製造業従業者数（人）	16,380 (H29)	16,480 (R5)	16,803 ^{※2} (R5)	A

※1 基準値に5分の4を乗じたもの（114人）と実績値を比較し、評価する。

※2 令和2年をもって工業統計調査が廃止され、令和4年から製造業事業所調査（経済構造実態調査の一部）として実施されるようになったため、集計範囲が以下のとおり異なっており、基準値設定時と同条件での測定が不可能となった。

工業統計調査・・・国に属する事業所以外の従業者4人以上の全ての事業所を集計
製造業事業所調査・・・個人経営を除く全ての事業所を集計

このため、令和5年度の実績値は、次のとおり算出する（令和4年度実績値は令和3年度実績を据え置き）。

令和3年度工業統計調査の実績値×製造業事業所調査（R4→R5の伸び率）=16,803人

※ 令和3年度工業統計調査は経済センサスとして実施。

基本施策 1 地域の資源を生かした活力づくりの推進

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
製造業事業所数（事業所）	372 (H29)	378 (R5)	335 [※] (R5)	C

※ 数値目標「製造業従業者数」と同様の算出とする。

令和3年度工業統計調査の実績値×製造業事業所調査（R4→R5の伸び率）=335事業所

※ 令和3年度工業統計調査は経済センサスとして実施。

基本施策 2 住んでみたくなるまちの創生

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
定住促進支援制度利用件数（件）（5ヵ年の累計）	417 (H30)	1,680 (R2~R5累計)	1,657 [※] (R2~R5累計)	C

※ 基準値と実績（R2～R5累計）の4分の1を乗じたもの（414件）を比較し、評価する。

基本施策3 地域の魅力を生かしたにぎわいの創出

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
観光客数（万人）	273 (H29)	294 (R5)	171 [*] (R5)	E

※ 岐阜県観光入込客統計調査の令和5年分の結果がまだ公表されていないため、本市から県への岐阜県観光入込客統計調査に係る報告数値を実績値とする。

基本目標3 安心できるまちづくり

数値目標	基準値	R5目標値	実績値	評価
大垣市に住み続けたいと思う市民の割合 (%)	86.5 (R1)	89.3 (R5)	86.8* (R5)	B

※ 令和6年4月から5月にかけて実施した市民アンケート調査の結果を実績値とする。

基本施策1 快適・便利なくらしの実現

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
自主運行バスの実車走行キロあたりの輸送人員 (人)	0.93 (H30)	0.965 (R5)	0.85 (R5)	C

基本施策2 安全なくらしの確保

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
自主防災組織防災訓練実施件数 (件)	113 (H30)	130 (R5)	65 (R5)	E

基本施策3 健やかで安心できるくらしの実現

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
特定健康診査受診率 (%)	31.3 (H30)	60.0 (R5)	34.4 (R5)	B

基本施策4 互いを尊重しあえる社会の構築

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
男女共同参画の取り組みに対する市民満足度 (%)	91.5 (R1)	91.9 (R5)	90.9* (R5)	C
外国人に対するメール配信サービス登録率 (%)	29.0 (H30)	35.0 (R5)	35.8 (R5)	A

※ 令和6年4月から5月にかけて実施した市民アンケート調査の結果を実績値とする。

基本目標4 広域連携による魅力あるまちづくり

数値目標	基準値	R5目標値	実績値	評価
西濃圏域の観光消費額（億円）	275.1 (H29)	増加 (R5)	242.5 ^{※1} (R5)	D
西美濃地域の製造業従業者数（人）	48,675 (H29)	増加 (R5)	49,956 ^{※2} (R5)	A

※1 岐阜県観光入込客統計調査の令和5年分の結果がまだ公表されていないため、令和5年度の実績値は、西濃圏域2市9町へ照会の上、実績を集計し、コロナ禍を除いた5年間（平成28年から令和元年まで及び令和4年）の西濃圏域観光地点訪問客一人当たりの観光消費額の平均値に、令和5年の西濃圏域観光地点訪問客数を乗じて算出した。

※2 数値目標「製造業従業者数」と同様の算出とする。

令和3年度工業統計調査の実績値×製造業事業所調査（R4→R5の伸び率）=49,956人

※ 令和3年度工業統計調査は経済センサスとして実施。

基本施策1 つながり、支えあえる地域づくり

K P I	基準値	R5目標値	実績値	評価
西美濃地域の観光客数（万人）	1,388 (H29)	1,460 (R5)	1,131 ^{※1} (R5)	D
新規高等学校卒業者（西濃圏域）の地元就職の割合（%）（5ヵ年の平均）	66.0 (H26~H30平均)	67.6 (R1~R5平均)	59.1 ^{※2} (R1~R5平均)	D

※1 岐阜県観光入込客統計調査の令和5年分の結果がまだ公表されていないため、各市町から県への岐阜県観光入込客統計調査に係る報告予定数値を実績値とする。

※2 基準値（平成26年度から平成30年度まで5ヵ年の平均値）と比較するため、実績値は令和元年度から令和5年度まで5ヵ年の平均値とする。